



Bridgitの概要

Bridgitはインターネットを介してデータ、映像、音声を共有するWeb会議を、簡単にしかも廉価で行うことができるソフトウェアです。Web会議同様、e-Learningを極めて簡単におこなうことができます。

(1)ファイアウォール (Firewall) と共存が可能。

(2)TCP/IPを入力しないでWeb会議に参加。

(3)クライアント・ソフトのダウンロードにより、誰でもWeb会議を主催。

製品の提供はメールによる製品キーの送付、
Webからのダウンロードでメディアでの提供はありません。



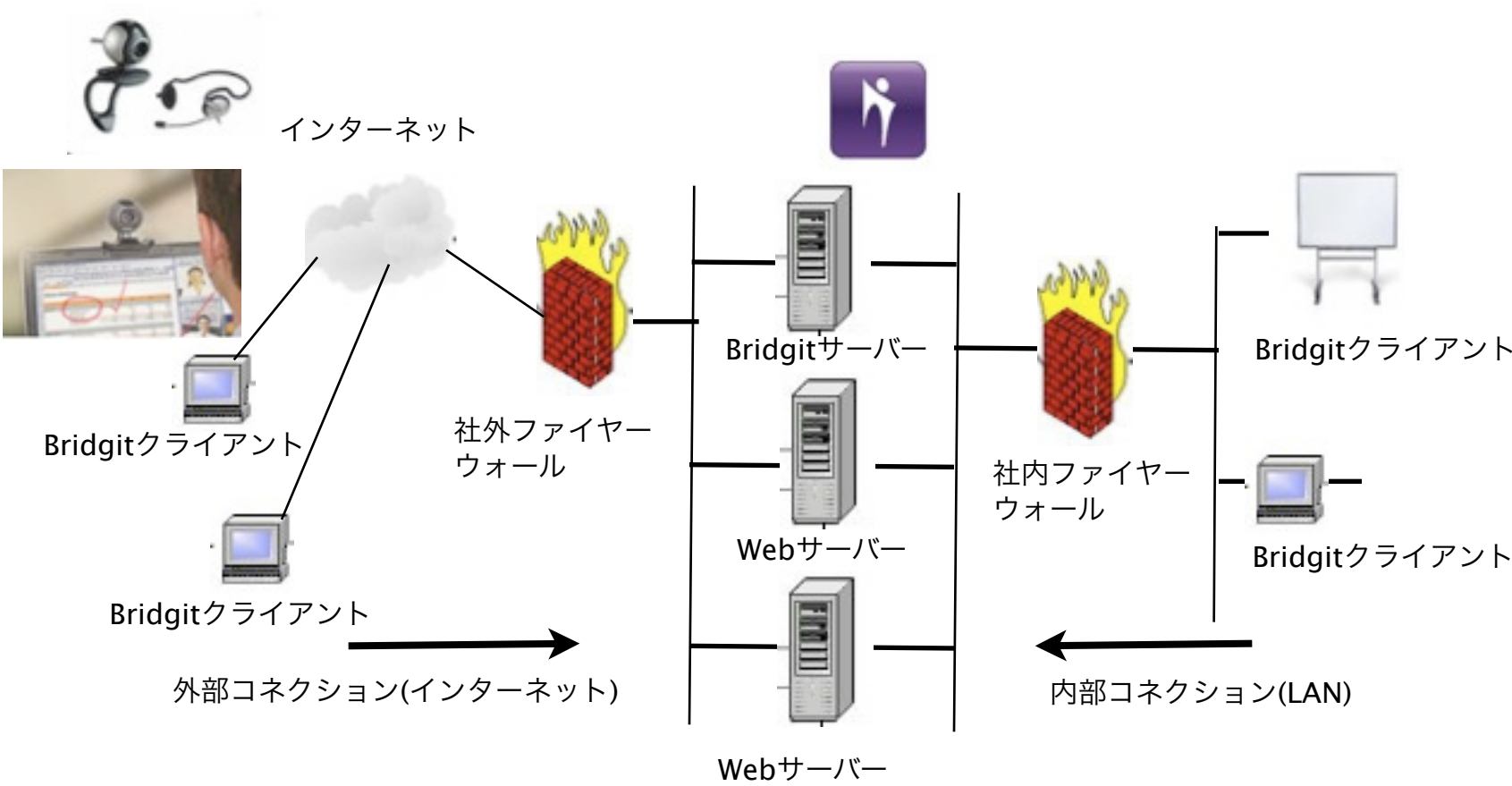


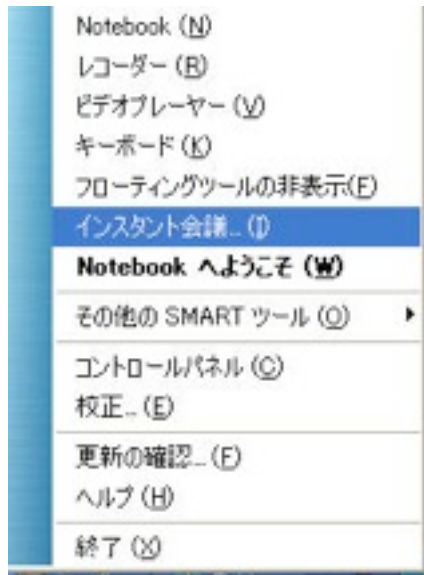
Bridgit

Bridgitは従来の高価なTV会議システムではありません。インターネットを介してデータ、映像、音声をスマートボードやPC間で共有します。

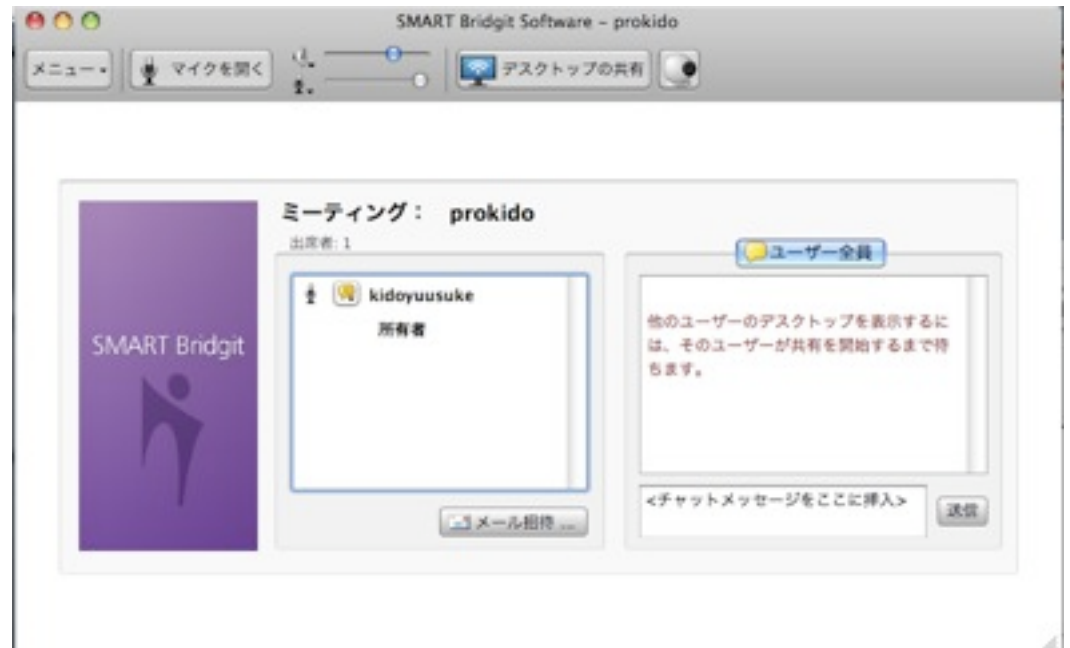
- (1)サーバソフトウェアはWindowsPCにインストール、5クライアントライセンスが含まれています。
- (2)クライアントソフトウェアはサーバーから無制限にダウンロード可能です。
- (3)最大クライアント数はサーバーあたり150
- (4)PCモニターのみでも使用可能です。スマートボードとの組み合わせで効率に高い会議やトレーニングや授業ができます。
- (5)ファイヤーウォールに透過的でIPアドレスの入力も必要ありません。

Bridgit構成図





「スマートボード」のコントロールパネルの「インスタント会議」をクリックすると、右のメニューが現れます。



これから説明する「インスタント会議」を始めることができます。

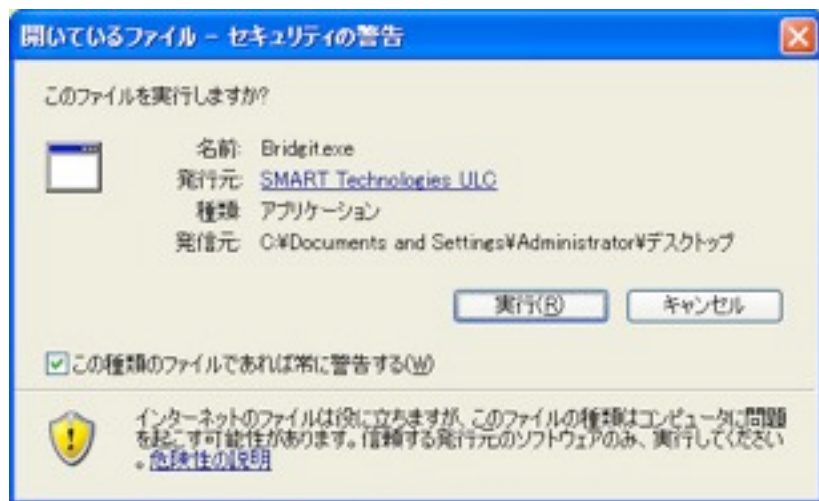
(Bridgitは前もってインストールしておいてください)

Bridgit・データ会議をはじめましょう

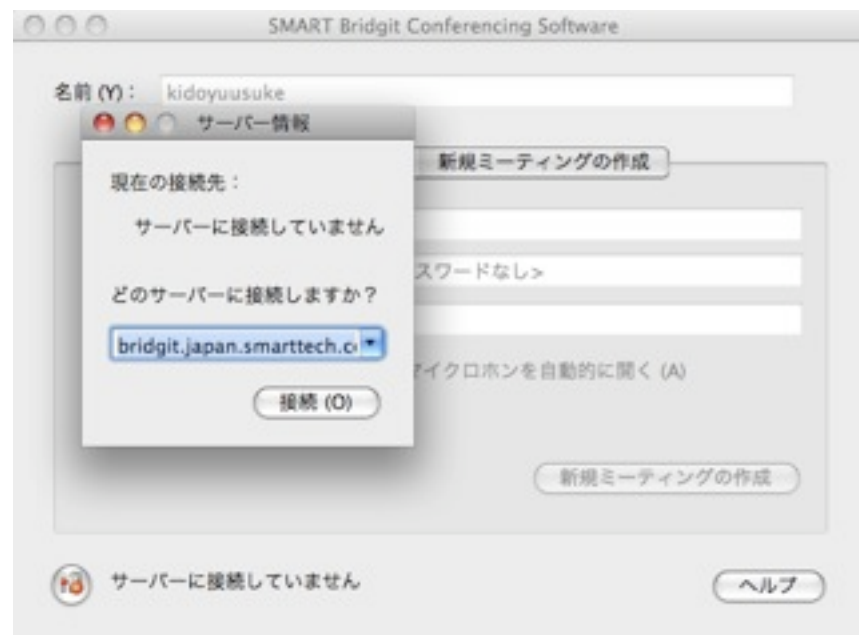
Bridgit クライアントソフトウェアを以下のURLからダウンロードします。

<http://bridgit.japan.smarttech.com>

- データ会議を開始する手順を開始します。



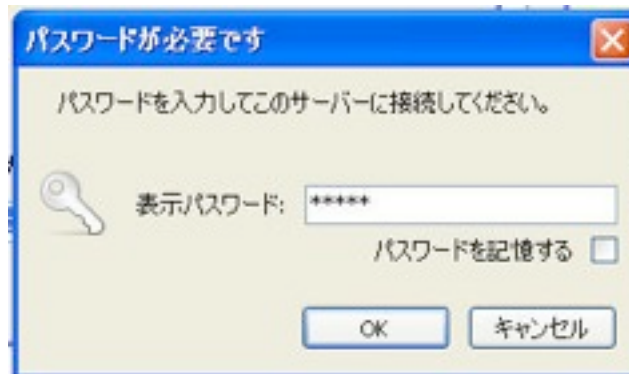
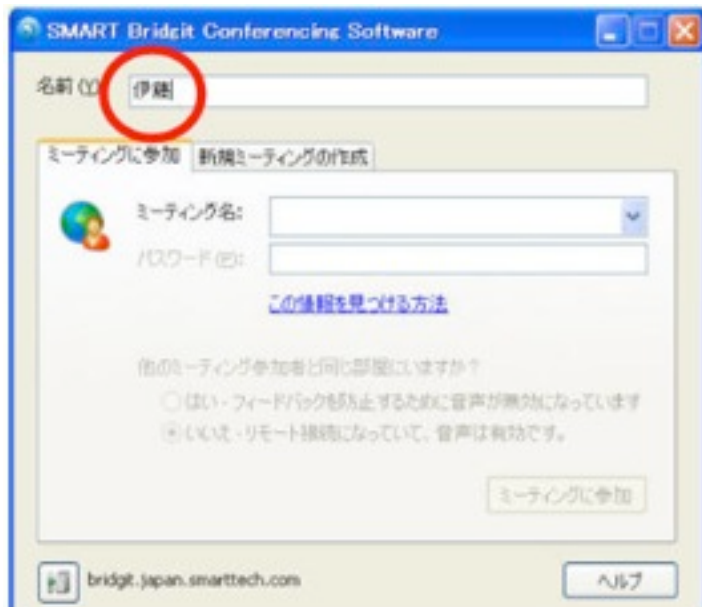
ダウンロードしてインストールします



接続する会社のbridgitサーバーに接続します。

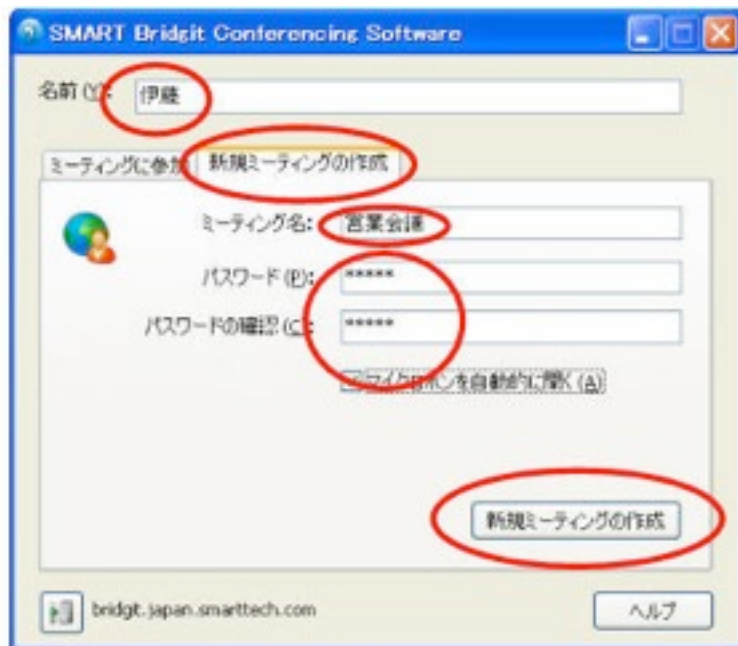
(bridgit.japan.smarttech.com はテスト用の弊社のサーバーです。)

ご使用のパソコンの使用者の名前で起動します



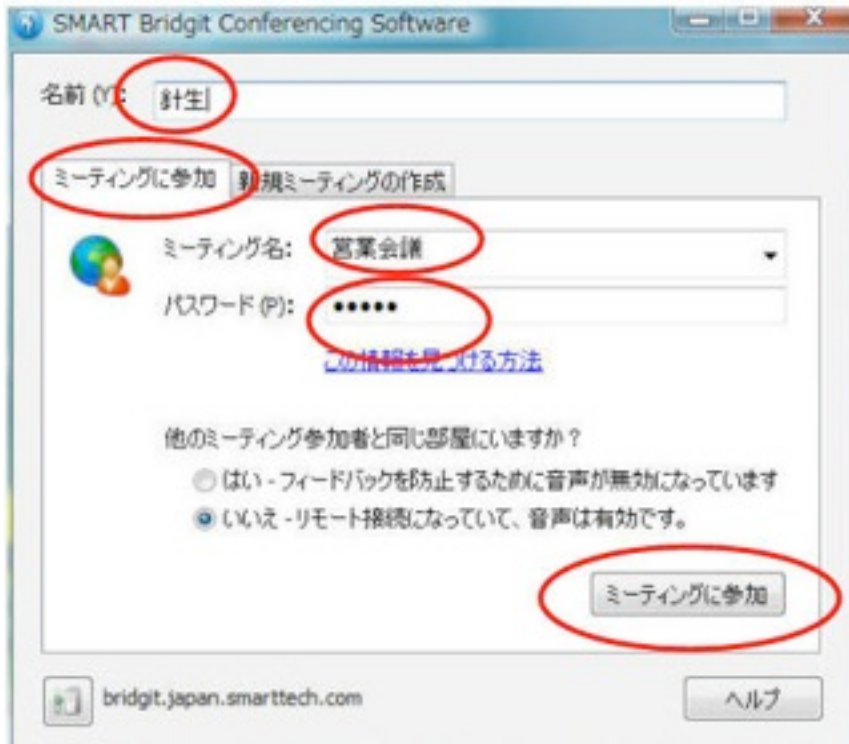
指定のサーバーの「パスワード」を入力して、弊社のサーバーに接続します。

- テスト用の弊社サーバーの「パスワード」は「smart」です。
- 「OK」を押すと。左の画面のように「ミーティングに参加」という画面になります。

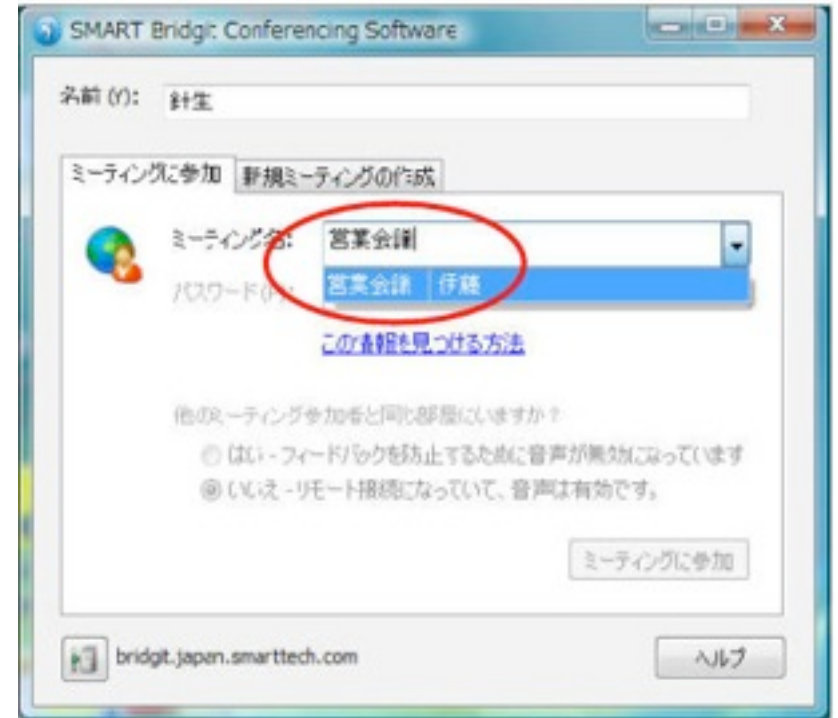


1. 伊藤氏が「新規ミーティングの作成」を行なおうとします。
2. 「新規ミーティングの作成」のタブを選択します。
3. 開催する「ミーティング名」を記入します。部外者から分からない名前にしてください。
(禁：人事評価会議など)
4. ミーティングの「パスワード」を決めます。会議の内容が外部から推測されないような「会議名」と「パスワード」を設定してください。
5. 確認ため、「パスワードに確認」に再度同じパスワードをいれてください。
6. 音声を使う会議の場合は、「マイクロホンを自動的に開く」をクリックしておきます。
(注：マイクはPCのマイクポートに接続します。電話会議のスピーカー付マイクでもOKです。)

会議に参加する方法を説明します。



自分が会議に参加する場合、「ミーティングに参加」を選び、参加する「ミーティング名」と事前に通知されている「パスワード」を入力し、「ミーティングの参加」を選びます。



サーバー上で開催されているミーティング名と会議開催者のリストが表示されるので、出席したい会議を選びます。



尾崎氏が参加します。



中島さんが参加します



「ミーティング（会議）」に参加する人が揃いました。

- 「ミーティング（会議）」に招きたい人があった場合は、以下の様に「メール」で会議に招聘します

会議に招聘しなかった人を会議に急に参加を要請する場合は、「メール招待」で、電子メールで詳細を知らせ、参加してもらいます。



会議への招待者が参加することが可能になりました。

ではデータ遠隔会議・ブリジット (Bridgit)の準備を始めましょう。

上部のメニューは、このように表示されます。説明は後で行います。


- 相手からの音声ボリュームと、送信側の音声ボリューム、
Web カメラを接続出来ます。

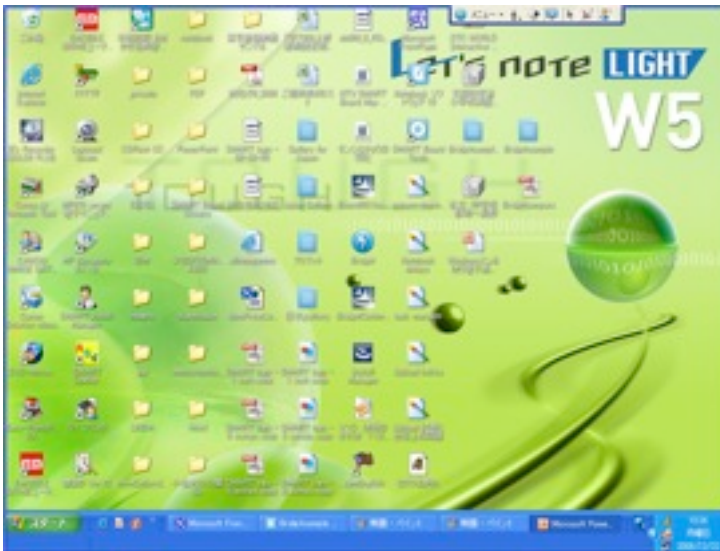
The screenshot displays a Microsoft Excel spreadsheet titled "value analysis.xls" with a "Value Analysis" table. The table is divided into three main sections: BENEFITS, INVESTMENTS, and NET VALUE. The BENEFITS section shows quarterly and cumulative values for increased revenue, reduced costs, and avoided costs. The INVESTMENTS section shows quarterly and cumulative values for one-time and ongoing investments. The NET VALUE section shows quarterly and cumulative totals, a 1st year net return of 3001.00%, a breakeven point of 1 year, and an ROI of 17%.

	Q1	Q2	Q3	Q4
BENEFITS				
Increased revenue	\$0	\$253	\$587	\$880
Reduced costs	6	33	47	100
Avoided costs	13	26	39	52
Quarterly total	\$13	\$253	\$692	\$1,032
Cumulative value	\$13	\$366	\$1,058	\$2,090
INVESTMENTS				
One-time investment	(\$44)	(\$27)	\$0	\$0
Ongoing investment	(\$7)	(\$0)	(\$0)	(\$0)
Quarterly total	(\$51)	(\$27)	(\$0)	(\$0)
Cumulative investment	(\$51)	(\$78)	(\$78)	(\$78)
NET VALUE				
Quarterly total	(\$38)	\$126	\$692	\$1,032
Cumulative total	(\$38)	\$47	\$164	\$399
1st year net return	3001.00%			
Breakeven point	1 year			
ROI (1st year)	17%			

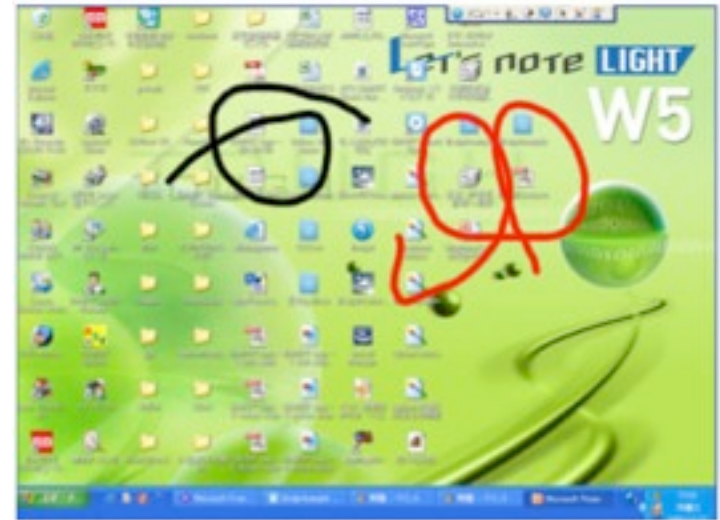
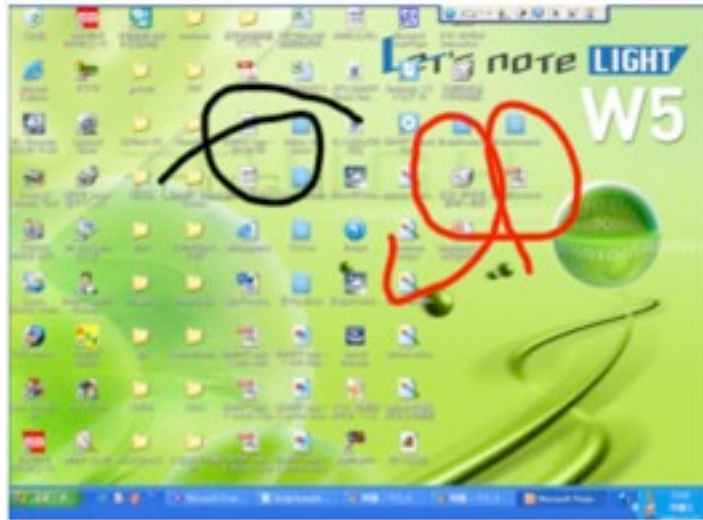
The pie chart shows a 3D view with four segments: a large grey segment, a blue segment, a yellow segment, and a brown segment. A red checkmark is overlaid on the chart. The "Participant 3" control panel in the bottom right corner shows options for "Pause", "Presenter / Owner", "Eject", and "Mute", along with a "Send Invite" button.

会議主催者、伊藤氏は「デスクトップの共有」をクリックして、伊藤氏が会議に使うコンピュータの資料、例えば「PowerPoint」や「スマートノートブック」のファイルを「共有」（開き）ます。

 デスクトップの共有 をクリックします。



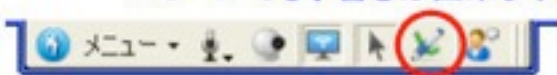
「伊藤氏」のデスクトップ画面が、ミーティング相手全員の画面に現れます。（共有されます）共有したい具体的な資料が含まれます。



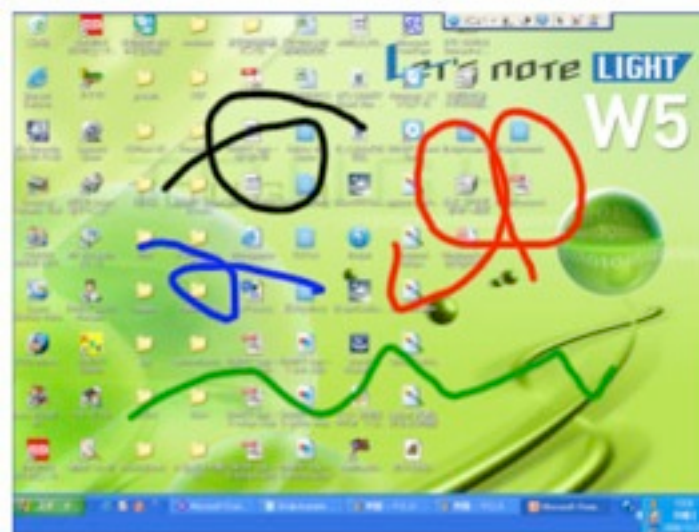
伊藤氏が「スマートボード」を使用しているので「黒」と「赤」で手書きします。伊藤氏のデスクトップと共に「黒」と「赤」の手書きが相手のモニターや「スマートボード」にも表示されます。（伊藤氏画面）

受信した相手側にも上と同じ画面が表示/シェア/共有されました（相手側画面）

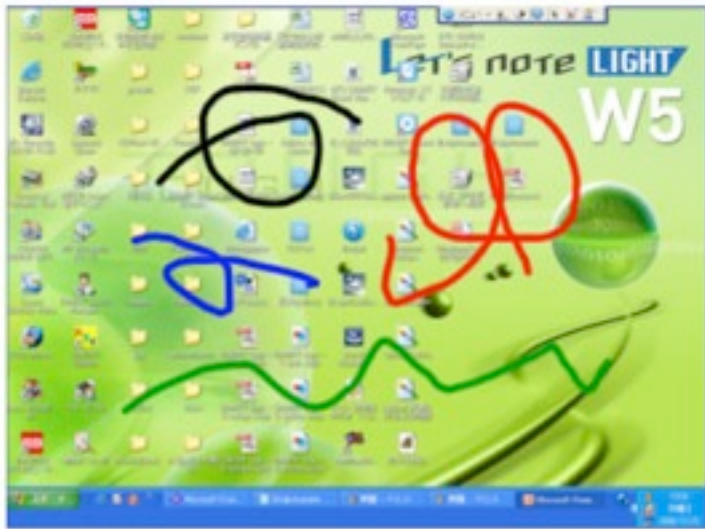
このペンでも手書きは出来ます。



ダブルクリックすると「カラーパレット」が現れ、色の選択が出来ます。

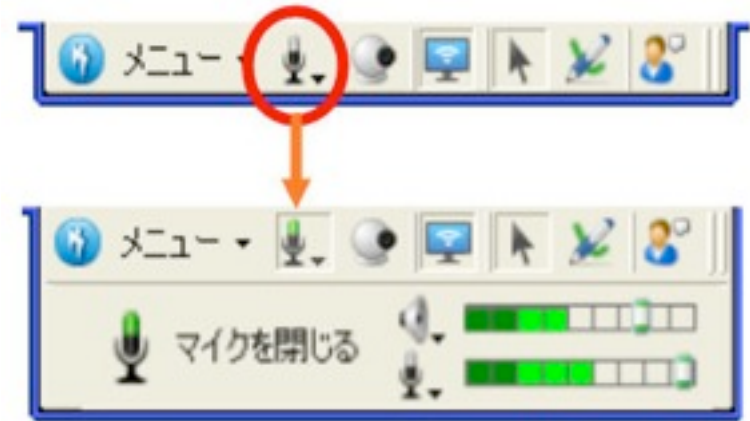


受信側では、左図のメニューのペンを選んで、受信側の「スマートボード」や「モニター画面」に、「青」と「緑」で手書きします。



送信側の伊藤氏の画面にも、相手側の手書きが送られ、表示されます。

•ここで、お互いの音声聞こえるか、相互の映像が見えるか確認します



「マイク」をクリックすると、「マイク」機能が開いて、音声の送受信状態と確認できます。「マイク」を使わないときは「マイクを閉じる」をクリックすると、「マイク」機能は閉じます。

音声と映像を確認します。

「Webカメラ開始」をクリックすると、Webカメラを通じた映像が「ビデオ」スクリーンの中に映像が表示されます。



これは、会議（ミーティング）送信者（主催者）伊藤氏の映像です。

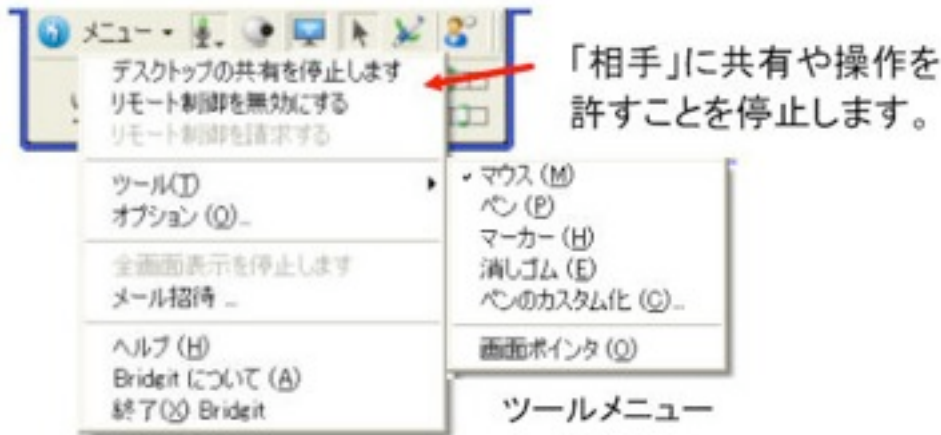
- Webカメラは、最大4地点の映像を表示できます。



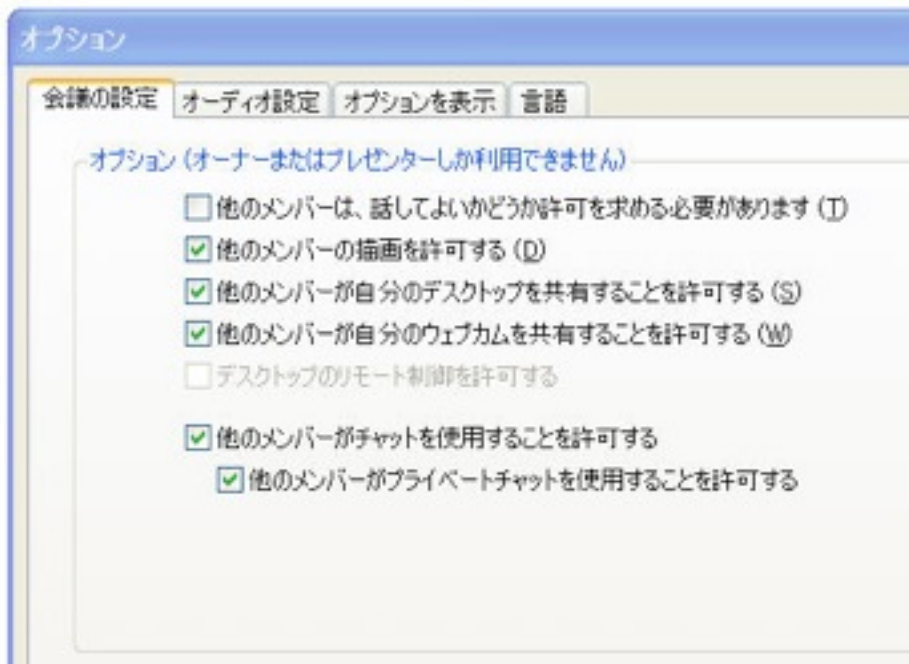
参加者側の「Webカメラの開始」を、それぞれが会議参加場所でクリックすると、参加者の名前と共に、相手側の映像が映ります。



映像は必要がなければ表示する必要はありません。



オプション・メニューの詳細説明です。



主催者の伊藤氏は、さまざまな設定を事前に行なうことができます。

言語はOSに準じます。ただし、WindowsVISTAのOSは、中国語と、ハングルに対応します。



オーディオ設定と、オプション表示の設定を行ないます。

デスクトップを共有して会議を始めます。

この場合は、「PowerPoint」を共有しています。

- 新製品の「プレゼンテーション」を会議参加者に伝えられます。



デスクトップを共有して会議を始めます。

この場合は、「Excel」を共有しています。

- 遠隔授業を可能にします。



PC 必要要件	サーバー必要要件	Mac 必要要件	ネットワーク
128 MB RAM (256webcamサポート時には256MB)	500 MHz Pentium III	G4 GHz (webcamサポート時には1.4 GHz以上)	10 Mbits/秒
Pentium II 266 MHz以上	Windows NT 4.0 (SP6aあるいは同等), Windows 2000, Windows XP もしくは Windows Server2003	256 MB RAM (webcamサポート時には500 MB)	TCP/IP ネットワーク (サブネット推薦)
Windows 98, 2000, ME, XP あるいはWindow NT 4.0		Mac OS X versions 10.3.9 and 10.4.x	56 Kbps インターネット接続
56 Kbps インターネット接続		56 Kbps インターネット接続 (webcam サポート時はブロードバンド)	

主な使用用途、使用目的

- オンライン・リモートマルチサイト・ミーティング（全世界企業など）
- オンライン・リモートマルチサイト・トレーニング（SMART社ほか）
- オンライン・遠隔授業（豪州教育訓練省、東京工業大学など）
- 地図データを使用した広域緊急警察署対策網構築
- 広域消防火災対策連絡網（米国マサチューセッツ州消防局）
- オンサイト・リモート・修理診断解析プログラム（SMART社）
- オンライン・e-Learning授業（中小塾経営）
- 軍事用目的（NATO軍、在日米軍基地、米陸海空軍など）
- 遠隔工場施設と本社間連絡用（某エネルギー社）
- 海外・国内の金融・証券・信託企業の通信網（内外金融各社）



Bridgit により

- 遠隔地の姉妹校や、「英語」で海外の学校と遠隔授業ができます。
- 離れた工事現場と、ビデオと音声で会議を行い、工期の短縮が実現します。
- 火災現場、災害現場からの状況把握と、的確な指示ができます。
- 遠隔とのトラブル診断と、回復手段を迅速に伝えられます。
- 遠隔地の顧客のトレーニングを、プログラムを組んで行なうことが可能になります。
- 社長の新年の訓示や、緊急事態を迅速に通達できます。
- e-Learningが容易に、迅速に、廉価に出来ます。